

お茶の水地理学会活動報告（2015年度）

2015年度の活動は、下記の通りです。

1. 4月28日（水） 会報「harmonie」67号発行・発送
2. 5月16日（土） 代表幹事会 参加者6名
3. 5月30日（土） 学年幹事会 参加者9名
総会 参加者21名
講演会 参加者34名
懇親会 参加者17名

*講演会

講師：菅沼 亮子会員（13回生）

「アメリカンホームステイケンタッキー大学数学科卒業」

愛知県豊橋市出身。1965年3月本学地理学科卒業後、38年間愛知県立高等学校社会科（地理・世界史・政経・倫理社会）の教諭を務めた。2003年3月定年退職後、米・ケンタッキー州レキシントンでホームステイ、ケンタッキー大学ESL、レキシントンコミュニティカレッジを経て2004年8月ケンタッキー大学へ入学した。途中4ヶ月中断（夫の手術のため帰国）を挟み、2007年5月ケンタッキー大学数学科を卒業した。この間、旺文社ブルーグラスアカデミーで、日本人の生徒に数学を教えた。

（菅沼氏は2015年12月末に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。）

*卒論優秀賞 2名受賞

中井 瞳会員（63回生）「高齢者を『呼寄せる』街横浜市都筑区」要旨発表

米田 美音会員（63回生）「岡山県における原発自主避難者と地元住民のコンフリクトー公立小・中学校の学校給食を事例に」要旨配布

*博士論文報告（博士課程修了）

李 小妹会員（平18院入）「中国・華僑城テーマパークにおける空間の表象と少数民族若者の日常実践」要旨配布

4. エクスカーション 9月26日（土）

「名古屋 熱田神宮・有松・大須商店街を巡る」

案内者：影山 穂波会員（椋山女学園大学教授、40回生）、山本 理佳会員（愛知淑徳大学講師、平17

院入）、内田 忠賢氏（奈良女子大学教授、元本学助教授）

参加者42名（当学会24名、明日香14名、内田ゼミ2名、影山ゼミ2名）

※明日香は、奈良女子大学地理学科卒業生同窓会です。

5. 10月28日（水）学会誌「お茶の水地理」54号発送、会報「harmonie」68号発行・発送

会員名簿発行・発送（12月2日修正表発送）

6. 12月12日（土） 学年幹事会 参加者17名

報告会 参加者23名

講演会 参加者67名

懇親会 参加者19名

*報告会

滝沢 由美子会員（14回生）

「パプアニューギニア クラインビット村訪問」

*講演会

講師：原 聡子氏（日本テレビ放送網経済部、47回生）

「テレビ報道の現場」

1976年山口県生まれ。湾岸戦争を取材する特派員に憧れ、報道記者を目指す。1994年地理学科入学。2年次終了後、英・オックスフォード大学マンスフィールドカレッジに留学。1999年本学卒業後、米・ハーバード大学大学院・東アジア研究科にて安全保障学を専攻。2001年修士号取得。

2002年日本テレビに入社。報道記者として、北朝鮮拉致被害者の帰国、金融再編、郵政民営化、ライブドア事件、リーマンショックなどを取材。2009年から「Going! sports & news」、「真相報道バンキシャ!」でニュースキャスターを務める。2013年現場に復帰、経済記者としてTPPや電力システム改革などを取材。「News Everyー今週のお値段」で経済解説も務める。

講演はお茶の水学術事業会との共催。会員の他に、大学HPより応募の学生、事業会会員、桜蔭会会員、および「毎日新聞社」「朝日新聞社」「文京区報」などの広報による参加者が集まった。講演要旨は本誌掲載。（お茶の水地理学会事務局 土屋 久美（38回生））